政策評価シート【総括票】

施策の柱	４－２　快適な暮らしの基盤をつくる

基本方針	市民の快適な暮らしの基盤づくりとして、計画的な土地利用や良好な都市景観の形成、市街地整備などを進めます。

担当局（区）	都市局　　建設局

評価区分	D	政策の目的達成に向けあまり成果が現われていない

【評価の理由・説明】
　中間目標値を超えた指標は、「生活を支える上下水道や道路などを安心して使うことができる」と「耐震補強が必要な橋梁の改善率」であり、第１次実施計画において、上下水道施設、橋梁等の整備・耐震化などの取組みを着実に進めてきたことが要因と考えられる。
　一方、「駅前など、市内の市街地は整備されて魅力的だと感じる」は、市街地の魅力向上を目指し、駅前の市街地再開発事業や土地区画整理事業を推進している。しかし、どちらも長期間にわたる事業であり、事業途中段階での市街地は魅力的だと感じられにくいことから、指標の数値があまり向上していない。また、人口の増加と市街地の拡張が続いていることや、生活機能の立地状況等の要因から、市民が車を使わないことによる便利さを実感できていない。
　「市内の街並みの景観は良好だと感じる」、「良好な景観形成推進を図る地区数」は、景観形成推進地区に指定した幕張新都心地区のある美浜区では前回よりも数値が向上したが、全体的としてはH23末と比較して数値が下がっている。さらに、「市内の住環境は良好だと感じる」、「高齢者の暮らしているバリアフリー化率」、「耐震性のある住宅の割合」は、バリアフリー化や耐震改修を行った住宅の戸数は着実に増えているものの、建築物所有者の高齢化が進み、所得が減少していることや改修費用に多額の費用を要することなどから、指標の数値にほとんど変化がなく、全体的に評価の向上につながっていない。

【今後の取組みの方向性】
　千葉駅及び周辺の市街地整備については、同駅の建替工事、エキナカ施設、JR・モノレールの連絡通路など全ての施設の供用開始が平成30年夏以降を目指しており、また、西口地区第二種市街地再開発（B工区）も整備完了までしばらく時間を有する状況である。そのため、短期間で「駅前など、市内の市街地は整備されて魅力的だと感じる」など関連する成果指標の向上を目指すことは困難な状況にあるが、第２次実施計画などに基づき、着実に取組みを進め、完成後はより充実した施設として利用可能なものとし、駅及び周辺の魅力向上のみならず、交通や買物の利便性の向上にもつなげていく。また、集約型都市構造への転換を見据えた、本市の都市づくりの将来像や方向性を「都市計画マスタープラン」で示していく。
　このほか、市内の住環境に関する取組みについては、所有者の高齢化による改修費用の負担が一番の課題であるため、助成事業の情報提供を行うとともに、特に、耐震改修については、助成額拡充により耐震化を進め、バリアフリー化率の向上のため施策の検討を行う。
　また、上下水道や道路などの生活基盤の整備については、老朽化した汚水管や橋梁などの更新・耐震化、道路の安全性・利便性の向上を図る必要があるため、第２次実施計画において、引き続き、各施設の整備、改良、耐震化などを、ライフサイクルコストの観点を踏まえ計画的に進めていく。

評価区分の基準（指標の達成状況の平均点数）
　A：4．5点以上、　B：3．0点以上4．5点未満、　C：1．5点以上3．0点未満、　D：0点以上1．5点未満、　E：0点未満

生活実感・行動指標

（%）

指標No.	指標名	H23末 現状値	H26末 中間目標値	H29末 中間目標値	H33末 目標値	H26末 現状値	H29末 現状値	H33末 現状値	達成状況	点数
128	駅前など、市内の市街地は整備されて魅力的だと感じる	31	40	45	50	32.1			△	1
129	買物などの日常の外出は、車を使わなくても便利だと感じる	48.2	50.4	52.6	55	46.8			×	−1
130	市内の街並みの景観は良好だと感じる	37.1	39.7	42.3	45	36.3			×	−1
132	市内の住環境は良好だと感じる	54.8	57	59.3	60	54.8			△	1
135	生活を支える上下水道や道路などを安心して使うことができる	62.8	65.2	67.6	70	68.2			◎	5

客観指標

指標No.	指標名（単位）	H23末 現状値	H26末 中間目標値	H29末 中間目標値	H33末 目標値	H26末 現状値	H29末 現状値	H33末 現状値	達成状況	点数
131	良好な景観形成の推進を図る地区数(地区)	0	2	3	4	1			△	1
133	高齢者の暮らしている住宅のバリアフリー化率(%)	38.9	49.7	−	75	38.8			×	−1
134	耐震性のある住宅の割合(%)	84.4	88.6	90.0	95.0	85.9			△	1
136	下水道汚水処理普及率(%)	97.2	97.6	97.7	97.8	97.2			△	1
109	耐震補強が必要な橋梁の改善率(%)	60.4	77.7	87.8	100	79.1			◎	5

平均点	1.2

施策別・事業の進捗状況

施策	進捗状況 達成	進捗状況 未達成	主な事業の進捗状況（事業を取り巻く社会経済情勢、成果・課題など）
４－２－１	8	5	「千葉駅西口地区第二種市街地再開発」により、再開発ビル（A工区）及び駅前広場を供用開始したが、「JR千葉駅建替えの推進」は、東日本大震災の影響により、資材調達、受注業者の確保が一時困難となり、工事スケジュールに遅れが生じた。
４－２－２	1	1	今後10年間の市の都市計画の基本的な方針を定める「都市計画マスタープラン」の素案を作成した。郊外部において、公共交通の利用者数が減少している地域があり、減便や撤退が発生している。
４－２－３	1	2	景観形成推進地区を1地区指定した。
４－２－４	17	9	「市営住宅の整備」は、ほぼ目標事業量を達成したが、「耐震診断・耐震改修助成の推進」は、東日本大震災から3～4年経過し申請数が減少している。
４－２－５	23	6	下水道施設や橋梁などの耐震化、舗装や側溝の新設・改良について、ほぼ目標事業量どおり達成した。